

[図書館]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H23 年度計画額（単位：千円）		H23 年度必要人工	
			H23 年度計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	図書館運営事業	B	32,928	10	3.0	7.0
合 計			32,928	10	3.0	7.0

■特記事項

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	図書館	No.	1
事務事業名	図書館運営事業		
総合計画 の体系	大分類	3	健康で安心な暮らしと災害や犯罪などに強い社会を創造する
	小分類	(1)	誰もが自立した生活が送れる健康長寿・生涯現役社会の構築
事業目的	生涯現役として誰もが自立した生活が送れるように、生活に「役に立つ」情報が提供できる生涯学習施設とするため、利用者の利便性向上を図ることを目的とする。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料の貸出、配架、購入、除籍等の整理作業 愛知県図書館との協力貸出と県下図書館との相互貸借 	<ul style="list-style-type: none"> 延滞者に対する督促 予約、複写サービス 蔵書に対する調査相談業務 交付金等を活用した新たな業務の創造 	
現在における課題	<p>①図書の集品システムの見直しと利用者へのサービスの迅速化 図書館は、新刊図書の集品スピードが利用者ニーズを喚起することで成り立っている。既に限界を迎えている現状の集品システムを変更すること、また、クラウド型の新しいシステムを導入することで、経費の削減を図ることが課題になっている。</p> <p>②利用増が見込まれるうちに、新しい図書館運営のあり方を検討 当館の過去3年間の貸出実績は、町外利用者(35%以上)が増加したこともあり、年10%の伸びを記録更新中であり、全国3万人未満の町村図書館(456館)中で現在16位にランクされている。一方、昨今の経済情勢による財政の悪化に伴い、公共サービスのあり方を見直す動きも目立ってきており、県下でも全51館中既に17館が民営化、準備中が8館程度ある。こうした状況をふまえ、“新たな公共”を担う手段として今後民営化していくことを検討していく。</p>		
平成23年度に向けた改善策等	<p>図書館情報システムの機器を更新するために、平成22年度地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)の活用できることになり、経費面と早期契約ができたことで作業の効率化を図る。また、図書の集品システムの見直しを図るために、愛知県緊急雇用創出事業も活用し、早期に利用者の利便性向上と職員作業の効率化に取り組む。さらに、館内環境の整備として、トイレ等改修工事にも地域活性化交付金を活用し、5月までに工事が完了できるよう取り組む。</p>		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	愛知県緊急雇用創出事業を活用した「書誌データ置換業務委託」の契約締結。緊急雇用者の公募 図書館トイレ等改修工事開始～5月（地域活性化交付金対象事業）
5	書誌データ置換作業の開始～8月（愛知県緊急雇用創出事業）
10	図書館情報システム更新、運用開始（地域活性化交付金対象事業）

□3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	・ ・
H25	・ ・

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	36,733	36,948	32,928
(内特定財源)		千円	26	0	10
人工	職員	人工		3.0	3.0
	臨時職員	人工		7.0	7.0
	計	人工		10.0	10.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額(増減額)	増減理由
03	1 1	一般図書費	6,000	当初予算作成要領に基づき備品購入費より組替え
03	1 2	通信回線	40	図書館情報システム更新による回線変更
03		プロバイダ接続	66	図書館情報システム更新による回線変更
03	1 2	図書館情報システム使用料	599	図書館情報システム更新による
03	1 4	図書館情報電子計算機器賃借料	△2,079	更新分が地域活性化交付金活用によりなくなり、従来分のみに
03	1 8	一般図書購入費	△6,000	当初予算作成要領に基づき消耗品費へ組替え
合 計			△1,374	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
書籍亡失等代金	10	
合 計		

■特記事項

【統計データ】個人貸出数の実績(平成 21 年度)

出典：図書館年鑑 2010 より

- ・人口 3 万人未満の町村 16 位 / 456 館中
- ・人口 2 万人以上 3 万人未満の町村 14 位 / 102 館中
- ・全国町村立図書館 52 位 / 526 館中

※平成 19 年度より上位 20 位以内へ入っている。

■改善策等に対する取組内容

クラウド型の新図書館システムを導入するに当たり、従来システムのデータ移行について、十分な打合せを行ない作業を進めた。

さらに、図書の集品システムの見直しを図るための書誌等のデータ一以降についても同様に作業を進めた。

館内環境に整備(トイレ等改修工事)については、工事契約の工期内に完了するよう、工程管理を行なった。

■評価

平成 23 年 10 月 1 日からの図書館情報システム機器の更新に際し、機器類を長期継続契約による賃借契約で行っていたが、地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)の活用による早期契約により、機器購入が事前にでき経費の節減が図れた。

クラウド型図書館システムを導入したことにより、図書館にあったサーバー設置スペースが不用となり、スペースの有効活用が図れた。また、従来の時間据置型サーバーに比べ、よりセキュリティー精度の高いものとなった。

さらに、図書館ホームページについても役場ホームページを経由することにより、図書館システム内蔵の簡易ページ型に変更することができ、更新後のシステムの経費節減と有効利用が図れた。

愛知県緊急雇用創出事業を活用し、図書の集品システムを刷新し、より迅速に利用者への利便性の向上、職員作業の効率化の向上が図れた。

館内環境の整備として、地域活性化交付金を活用したトイレ等改修工事を迅速に行ったことは、清潔で快適な空間を提供できた。